

自然を封入する

木村 公之・能勢 公紀・岡田 照代・鳥越悠紀子・澤 マスミ
(NPO 法人 人と自然の会 封入標本サークル)

「封入標本サークル」は2000年12月に人と自然の博物館の三橋先生（自然・環境マネジメント研究部河川生態学）の呼び掛けで水生昆虫を封入対象としてスタートしました。厳冬期に源流でカゲロウ・カワゲラ・トビケラ等を採集しますが、この寒い時期でも木の葉が落ちた水底には日が差し込み、水生昆虫の幼虫は活発に初夏の羽化に向けて活動しています。

小さな虫にもちゃんと名前がつけられていることに驚きながら、封入の対象が野花・昆虫・落ち葉・木の実・タンポポの綿帽子・羽毛、そして昨年には水生昆虫の成虫にまで封入の対象が広がりました。

この封入標本がポケットに入る手軽な標本として小学生たちに身近に親しまれ、自然に興味・関心を抱いてくれるきっかけになればと願っています。

封入標本は、二つの液体をある配合で混ぜ合わせ重合反応の結果透明に固まる性質を利用して作ります。揮発性ガスの発生、化学反応熱、容器の選択、封入対象物の配色・レイアウト、シールの挿入等集中力・思考力をも併せて理科・情操教育への手助けになるかなとの思いを込めて封入標本サークルは10人に足りないメンバーでがんばっています。

封入標本サークルの主な活動実績

ドリームスタジオ (Dスタ)

ひとはくキャラバンへの参画

ゲストティーチャー (受託)

三田市環境セミナー (受託)

さんだキッズ・サポートプロジェクト〔SKSP事業〕 (受託) 等々



今後は、水生昆虫の棲む川底の環境の再現と魚の封入を狙っています。